

三重大学医学部附属病院がんセンター主催

# いのち 生命の駅伝 ジョイント

参加費無料

# 市民公開講座

日時 平成27年5月16日(土)  
10:00~12:00 (予定) 開場9:00

場所 三重大学 三翠ホール  
大ホール (収容人数1,650人)

当日入場のみ ※事前予約の受付は行っていません



EKIDEN for LIFE ~生命の駅伝~  
ファイナルイベント

5月24日(日) 松阪中部台運動公園  
イベント・屋台・レインボーRUN開催!  
【問い合わせ】EKIDEN for LIFE事務局 TEL0598-51-3741

総合司会 山上 和美 (フリーアナウンサー)

● 開会の挨拶 三重大学医学部附属病院 病院長 伊藤 正明

講演 1

## がんに対する ラジオ波治療と凍結療法

講演者 | 山門 亨一郎

兵庫医科大学 放射線科 准教授

RFAはラジオ波凝固療法という治療です。ラジオ波という電磁波を発生する針を癌に刺して電磁波を発生することで癌の温度を上昇させ癌を焼き切る治療です。

電磁波で温度を上昇させるというのは電子レンジと同様です。肝癌や転移性肝癌では保険が有効です。

保険は使えませんが、肺癌、腎癌、副腎腫瘍、骨転移等の治療に用いられ、良好な成績が報告されています。肝癌や腎癌、肺癌では手術と同等の治療成績が報告されています。

一方、凍結療法は、周囲に氷を形成する針を用いて癌の治療を行います。針を腫瘍に刺して癌を凍らせてしまいます。

腎癌では保険適応ですが、骨転移、肝癌等でも良好な治療成績が報告されています。

● 閉会の挨拶 三重大学 学長 駒田 美弘

講演 2

## がん免疫療法 最近の進歩について

講演者 | 影山 慎一

三重大学大学院 遺伝子・免疫細胞治療学 教授

がんの治療として免疫療法を期待される患者さんが多い中、現実の医療として受けられるかどうか、どれくらい有効なのか、などの質問を医師に向けてもなかなか期待通り答えが得られないことが多いと思います。その訳は、一部のがんを除き医薬品として承認されたがん免疫療法がないこと、また、がんの免疫力を上げると称する医薬品でないものや未承認医療があるものの、残念ながら有効性が不明なものが多いからです。

一方で、がん患者さんの体内でがん細胞に対抗する免疫力が確かに存在し、その力を増大できることもわかってきました。その進歩は日進月歩です。多くの患者さんを苦しめている肺がんに対して免疫療法が有効であるとの研究発表もあり、近い将来クスリとなる期待が高まっています。

この講座では、がん細胞を監視する免疫力の仕組みとそれを応用したがん免疫療法の最近の進歩についてお話しします。

photo by:yo-see(photost.jp)

共催：EKIDEN for LIFE ~生命の駅伝~

後援：三重県 三重県医師会 三重県歯科医師会 三重県病院協会 公益社団法人三重県看護協会 日本対がん協会三重県支部  
文部科学省がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン

お問い合わせ 三重大学医学部附属病院がんセンター ☎059-231-5055 (平日9:00~17:00)